



2014年 4月 13日 No.69

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1 TEL/FAX 029-282-0229

E-mail atsuko-k@car.ocn.ne.jp

ツイッター @jyuouumare、フェイスブック

《バックナンバーは「川崎あつ子」(検索)でお読みいただけます》



ヤマブキ

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子

(かわさき 篤子)



2014年第1回村議会定例会が、3月3日～26日まで開かれました。山田修新村長の施政方針が示され、村長から新年度予算を含めて42議案が提出さ

れました。党議員団は、消費税8%への引き上げに伴うものなど、村民の利益に反すると判断する12議案などに反対し討論を行いました。私は、新年度一

般会計予算を含む3議案について反対討論を行いました。一般質問は、みなさんから出されたご要望・公約などをもとに、6項目について行いました。

## 2014 (平成26)年度 東海村予算

### より使いやすく～♪ 村民活動センター

○一般会計の予算規模は、224億3,500万円。

・予算規模が大きく伸びた要因は、東海中学校、中丸小学校、幼保連携施設等の建設事業のほか、舟石川近隣公園の整備や造成宅地滑動崩落緊急対策事業等の大規模事業を計上したことによるものです。

・歳入においては、常陸那珂火力発電所2号機に係る固定資産税や学校建設等に係る基金からの繰入金が大幅に増加しています。



昨年12月1日、村民が自主的に活動できる場所を確保するため、“東海村村民活動センター”がオープンしました。村民活動センターには、東海村ボランティア市民活動センター「えがお」の事務所や活動室が配置された他、会議やボランティア活動、趣味・余暇活動などに広く利用できる会議室が設けられました。

利用されていた目の不自由な方が、「元役場の駐車場から階段を上ったら平らなはずが、1段下がっていて踏み外し、怪我をしてしまった」とお話をありました。



さっそくセンターを訪ね、受付で話したところ、「前から気になって改善を求めていましたが、なかなか進みません」とのこと。村に早急な修繕を求めました。その後間もなく、とりあえずの処置ということですが修繕されました。けが人が出なければ動かない対応の遅れは否めません。問題があるところは声をあげ、改善を求める大切さを改めて実感しました。

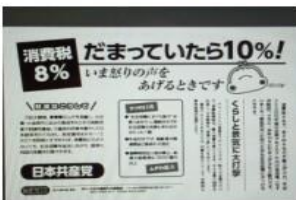


## みとめられない8点

新年度予算で、容認できない事項として、歳入では2点、歳出では6点について指摘しました。その1点についての発言をご紹介します。

◎1点は、地方消費税交付金4億5706万4千円です。これは、消費税率8%への引き上げに基づき引き上げられる地方消費税の歳入見込みです。「消費税増加分は、社会保障施策に要する経費に充当されます」と本村の予算の概要にはありますが、安倍首相は今年1月、スイスのダボスにおいて「今年は、さらに法人税を引き下げる」という内容の発言をしました。すでに経団連からは、法人税の10%の引き下げを要求され、5兆円の財源が必要になっていました。この度「社会保障と税の一体改革」政府広報で、「消費税の増

収分5兆円はすべて子育て・医療・介護・年金といった社会保障のために使われます」と書き、消費税増税で社会保障財源が5兆円増えるかのような印象を振りまいています。しかしこれは、大企業に法人税減税の5兆円の財源を要求されて、消費税の増収がそっくり法人税の財源に当たるわけですから「消費税の増収分5兆円は、社会保障のために使われます」というのは、全くの嘘ではないでしょうか。



## 一般質問&答弁



1. 東海第2発電所については次の質問をしました。(1) 政府のエネルギー基本計画案は、①重要なベースロード電源として永久に使い続けるもの。②究極の高コスト電源。③新たな安全神話による原発再稼働。の3つの問題点を持つがどう考えるか。

(2) 東海第2発電所の再稼働問題や避難計画についての見解は。(3) 今、日本のすべての原発は稼働ゼロ。

原発の40倍にのぼる巨大な潜在力もつ再生可能エネルギーへの大転換こそ未来はあります。どう考えるか。

村長 (1) 政府のエネルギー計画は、問題の先送りで不十分。(2) 各市町村と連携し県も含め安全協定の見直しに向け進めたい。使用済み核燃料があるので、避難計画はつくる。(3) 再生可能エネルギーは、安定的供給は疑問、原子力をすぐ否定もできない。東海村は地産地消のエネルギー推進が大事。バイオマス等村の再生可能エネルギーの促進についてはきちんとやっていきたい。

◎ 原子力発祥の地東海村の山田村長には、「東海第2原発は廃炉を」早急に決断されることが歴史的使命として求められています。

2. 後期高齢者保険料は、基金や繰越金を活用し引き上げをすべきではないと広域連合に求めてきました。来年度の保険料引き上げはどうか。

福祉部長 平成26、27年度の保険料率は、据え置きます。

◎ 今回、保険料の値上げ中止は、一步前進です。しかし、この医療制度は高齢者を差別し、高い負担を押しつけるものであり廃止すべきです。家族が一緒の保険を復活し、国の助成を増やすことです。日本共産党は高齢者医療費無料化の復活を引き続き求めます。村には国の悪政からの防波堤の役割発揮が求められます。



3. 国が、新年度から消費税の8%納税や、70~74歳の現行1割の医療費窓口負担を、14年度に新たに70歳になる高齢者から2割負担増を強行しようとするとき、国保税の2度目の引き上げはやめるべきです。村国保を解体して住民不在の広域連合に改編する改悪に村は反対すべきです。

ご参加くださ〜い

福祉部長 国民健康保険の保険者が村から県に移行するという最大規模の変革を迎える現状では、保険税の引き上げを実施せざるを得ない。国保の事業運営と財政運営の安定化を推進することが必要不可欠、広域化でそれを実現していく必要があると認識します。

4. 45年ぶりの大雪、村の農業ハウスの被害など状況把握は。また村内全域で路面の凍結が見られました。融雪剤を生活道路には早目にまいて対応してほしかったという声がありました。

経済環境部長 ビニールハウス20棟被害、ハウス撤去費用の助成、突発災害への支援検討します。国・県の支援に対応できる規則を作成し、被害にあった要綱を策定、周知します。

建設水道部長 村内46カ所に凍結防止剤を設置、役場と地域の協力で散布していました。全ての道路に凍結防止の対策をとることは現実的に大変難しいが、地域との協議を通して、凍結防止剤の設置箇所の変更や拡大を行います。設置箇所や利用方法は村ホームページ等で掲載、周知し引き続き皆様の協力を得て対応します。

5. 冬は白鳥や鴨が飛来する阿漕が浦、「野鳥やすいれんを楽しむことができる地区住民のオアシスとして、遊歩道を整備して欲しいと自治会要望がありました」進捗状況はどうか。実現の見通しは。



建設水道部長 平成31年開催の国民体育大会ホッケー会場に指定を受け、ホッケー場はもちろんのこと、この遊歩道など阿漕ヶ浦周辺の整備も含めて、地域住民の皆様のご意見をいただき検討します。

6. 救急車で村立東海病院に入院。「個室(特別室)しか空いてないと入院し、いずれ相部屋になるのだろうと思っていました。結局40日間入院で特別料金の支払いになってしまった」と苦情が寄せられました。

福祉部長 同意書による患者の同意を得た上で室料差額を請求しているところ。今後も医師や地域医療連携室と、患者への十分な説明を行うなど適切に対応し、安心して医療を受けられるよう努めます。